



2017年、国土交通省は「新たな住宅セーフティネット制度」をスタートさせました。住宅を確保するのに相当な困難を抱えている人々が存在する一方で、少子高齢化により空き家が増えている。これをマッチングして双方の問題を解決しようというものです。

2019年5月14日、神戸YWCAは兵庫県から居住支援法人の認可を受け(住宅確保要配慮者居住支援法人兵庫次第0006号)、活動を始めました。

神戸YWCAの 居住支援事業



ました。

「居住福祉」は、ハビタットIIでもご一緒した早川和男先生が提唱された概念で、著書『居住福祉』に、「人間にふさわしい居住の実現が福祉の基礎であること、あるいは福祉そのものであること」と記されています。震災後、神戸YWCAは地域福祉の拠点となることを目指して活動を続けてきましたが、地域福祉の根っこにある居住の問題について、震災から25年経った今、再び取り組みを始めることになりました。

■ 神戸YWCA まごの手が居住支援事業を担当

介護事業所「神戸YWCA まごの手」は、高齢者、障害者、産前産後の人など、支援が必要な方にヘルパーを派遣しています。また、ケアマネジャーは医療や介護など他職種と連携しつつ高齢者の在宅生活を支援しています。長年にわたって支援を要する人の在宅での暮らしを支えてきた経験から、居住支援の相談窓口はまごの手に設置しました。

神戸市中央区は61%が一人世帯。高齢化率は、22.9%で、神戸市全体の28.3%より低いのですが、高齢者のうち一人暮らしの占める割合は40.5%（神戸市全体23.2%）で、他の区に比べ突出して高いのです。家族の支援がない場合、介護保険など公的制度の支えなしには生活できず、またそれも十分とは言えません。

居住支援の相談窓口には、立ち退きを迫られている、階段の昇降ができなくなり今の家で暮らせない、収入が減り生活が苦しいので家賃の安いところに転居したい、などの相談が寄せられています。民間住宅を借りるのに、高齢者や障害者というだけでハードルが高くなります。住み慣れた地域だからこそ在宅で暮らし続けることができる人は多く、ぜひとも家主さんや不動産店には、住居確保に向けてご協力をお願いしたいと思います。

現在、職員3人、会員ボランティア5人が相談にあたっています。
(神戸YWCA まごの手所長・寺内 真子)

■ なぜ神戸YWCAは居住支援に取り組むのか ～阪神淡路大震災の経験から

1995年1月の阪神淡路大震災で、被災地のただ中にある神戸YWCAは救援センターを立ち上げ、全国からのボランティアと共に救援活動を行いました。

震災で住む家を失った人々は自宅から避難所、仮設住宅、復興住宅へと転居を繰り返し、慣れない土地に移り住み、その度にコミュニティが壊されました。「孤独死」という言葉が聞かれるようになったのもこの頃です。長引く避難所暮らし、仮設暮らしで健康を損ねてしまった人も多く、一方で被災者が去った公園には罹災証明を持たない人が残されました。住居は生活の基本であるということを実感させられました。

■ 「居住の権利」と「居住福祉」

1995年秋、神戸YWCA救援センターが国際NGOの調査団の受け入れに協力したとき、「居住の権利」という概念に出会いました。1996年初夏にはトルコのイスタンブールで開催された「国連人間居住会議(ハビタットII)」のNGOフォーラムに被災地から参加しましたが、ここで「適切な居住は基本的人権である」ということが宣言され

新組織づくりワークショップ

～神戸YWCA第2世紀への第一歩を踏み出そう～

9月5日(土)、神戸YWCA本館チャペルにて、新しい会員組織の再構築に向けてのワークショップが開催されました。これは、3月の定期会員集会の午後のプログラムとして開かれる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在まで延期となっていました。まだコロナ禍の中ではありますが、感染予防対策をしっかりと踏まえたうえで行いました。

神戸YWCAの活動の先を見据えたテーマについてみんな熱く語り合いました。アンケートやここで出された声をすくいあげ、運営委員会と会員のみなさんと分かち合いながら、100周年以降の新しい会員組織を作っていきたいと考えています。参加者18人。(運営委員会・野村 春美)

経緯と趣旨

2020年3月21日(土)、第100回定期会員集会にて、議事(7)新組織の件を提案。書面決議にて承認される。

提案内容:2020年度、会員活動が取り組むテーマ(部)の見直しと再構築に取り組み、2021年度以降に新しい会員組織をスタートさせることを目指す。

2020年9月5日(土)新しい会員組織の再構築に向けてのワークショップを実施。会員組織を見直し新組織を作り上げるために、「会員一人ひとりが取り組みたい課題についてのテーマ出し」を行った。

■ ワークショップ開催にあたり、事前にアンケートを実施しました(回答12人)。

① いま、生活の中で気になること・困っていること・こうなるといいなと思うこと・疑問に思うことは何ですか?	→ コロナ禍での生活の不安、政策など
② いま、どのような社会課題に関心がありますか?	→ 格差、平和、基地問題、働く女性、憲法など
③ 神戸YWCAの活動でよかったことはなんですか?	→ 多様な人との出会い、人とのつながり、仲間ができたなど
④ 神戸YWCAの活動で感じる課題はなんですか?	→ 細分化、同じ人が関わっている、社会への発信不足、疲弊している、高齢化など
⑤ 問④に対する具体的な解決策のアイデアがあれば教えてください。	→ 社会問題を意識したプログラムづくり、外部からのアイデアや意見を取り入れ行動する、誰でも入れる場づくりなど

■ 当日のワークショップでは、3つのテーマについてグループワークを行いました。

1 もしあなたを制限するものがなかったら、どんな社会問題に取り組みたいです?

外国人 環境
格差 防災
人権 女性
ユースエンパワ
メント 子ども
メディア など

2 神戸YWCAで活動する中で、どんなことを大切にすべきだと思いますか?

多様な人との出会い
多様なイシューとの
出会い
なんでも言える
仲間ができる
ボランティア精神を
大切にする など

3 神戸YWCAで活動する中で大切にしていることや感じる課題、もっとこうだったらいいのに!を出し合おう

組織の整理 知名度をあげる
会館が駅から遠い
事業と活動の提携
参加しやすいプログラムづくり
他の部・グループや団体との
コラボ 財政基盤を強くする
社会の問題に敏感になる
実践までの時間を短く
コミュニケーションの場づくり
など

ちやいやあらんど

ちやいやあらんどは、未就学児と家族を対象にした育児サークルです。このコロナ禍における自粛期間はみんなが孤立無援の日々でした。

ウイルスから家族を守りつつ、外出したい気持ちをなだめて、情報に振り回されると、何もかも一人で抱えている気分でした。子どもへの課題の与え方、時間のつぶし方、買い物に親や友人との距離感の保ち方・・・正解がない不安を吐露したり愚痴を交じえたりの情報交換、会えたらしたいこと、お店が開いたら食べたい物を言い合えるLINEなどのSNSこそ癒しでした。

集まりこそ可能にはなりましたが、ソーシャルディスタンスを保てない大人数のイベントはまだ開催していません。しかし、大人だけでも来てくれたことで家に持ち帰って親子で楽しめる物を作るイベントを開催するなど、外出が子どもに楽しみをもたらされるような場所になればと考えています。(木村 文子)



家にある写真を持ち寄ってつくるスクラップブックは人気のプログラム。次回の予定はP4をご覧ください。

あの不思議な光景を見届けよう

9月5日(土)運営委員会主催で、「新組織づくりワークショップ～神戸YWCA第2世紀への第一歩を踏み出そう」を行った(P2記事参照)。コロナ自粛を超えて、やっとこさの開催である。今後は、ここで出されたものや事前アンケートを元に、運営委員会から会員に向けて新組織の提案がなされていく。現在、その提案づくりのために、運営委員一同、悪戦苦闘(?)、いや、「夢」を見つつ懸命に取り組み中である。この新組織づくりは、会員の皆さんの積極的なご

意見あってこそ具体化されていく。近々アナウンスしますので、ぜひ、熱いご協力を!

組織再検討の取り組みは、作っては崩し、作っては崩しの連続だったが、結局のところは、YWCAという組織の本質は何かを探る旅のようだったと思う。神戸YWCAの憲法である「定款」という地図を片手に、運営委員や理事メンバーの明るさを灯火に、共にここまで来た。第2世紀に踏み出す「The神戸YWCA」がどんな姿をしているか、私も楽しみである。(総幹事・西本 玲子)

オンライン講座

容子の台所

発酵食で免疫力をアップしよ～!

カラダにいいこといっぱい発酵食。もっと日々の食生活に取り入れてみませんか? 簡単なお料理法など、楽しく解説します。さあ、発酵生活は始めましょう!



第1回
あまぎけ

10月23日(金) ① 14:00~15:00 ② 20:00~21:00

参加費: 2,000円 講師: 西岡 容子さん(神戸YWCA会員・料理研究家)

*ウェブ会議システム「Zoom」を使います。

申込方法:

- ①名前 (Zoomの表示名) ②メールアドレス (PCから受信できるもの)
- ③携帯電話番号 ④希望の時間帯 をメール (office@kobe.ywca.or.jp) で、または右のオンラインフォームからお申し込みください。

申込締切: 10月15日(木)

問い合わせ:

神戸YWCA ファンドレイジング実行委員会 (担当: 秋月)



私は今年、35歳になりました。YWCA Aでは先輩方からユースと呼ばれ、ぎよつとします。「35歳でユースと呼ばれて返事をしていたら、10代、20代の人にドン引きされるじゃないか」。新規ユースは来ていないのですが、もしも来たらどうしようかと心配しています。

しかし、最近先輩方に、「ユースじゃないからね」と言える環境があることは、いいことかもしれないなと思うようになりました。色々な人がいるので、理解し合えないことは自然なことです。理解が得られないから、意見が言えないというのは、問題だと思えます。それは、格差社会が広がっていても、横並びや、目立たないことをよしとする(私も普段は目立たないように努めています)、同調圧力が強い、今の日本社会では、貴重な環境だと思います。

この恵まれた環境に感謝し、これからも、言い続けていきたいと思います。

(M・K)

●ときどき木曜カフェ **分室**

10月8、22日(木)、11月12、26日(木)
14時～15時30分 マルシェとカフェ♪

●ちやいやあらんど **分室**

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
「定例会」10月21日(水)10～12時
参加費 300円
「ぬいぬいの会」
10月21日(金)10～12時 *別途材料費500円
「スクラップブックの会」
10月30日(金)10～12時
*別途材料費要

●声の奉仕 **分室** **その他**

10月27日、11月24日(火)
13時30分～16時
参加費 600円/月(別途年会費などあり)

●讃美歌を歌おうかい **本館**

11月5日(木)15時～16時 *10月は休会
参加費 500円(1回)

●聖書を読む会 **本館**

11月5日(木)13時30分～15時 *10月は休会
参加費 500円(1回)

●わいわい茶話会 **分室**

久しぶりに分室でおしゃべりしませんか? コロナ
感染予防対策をして、楽しいひとときを!
10月16日、23日(金)11月20日、27日(金)
10時30分～12時
参加費:300円(茶菓代含む)
*3日前までにご予約ください。

●カフェもぐもぐ **分室**

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
11月7日(土)、10時30分～13時
参加費 700円(おやつ付き) *要予約

●夜回り準備会ボランティア募集 **分室** **その他**

毎月第2・4土曜日の18～21時頃
一緒に活動して下さるメンバーを急募。
電話(078-221-5111)・メール(yomawari@kobe.
ywca.or.jp)でお問い合わせください。

クレジットカードで
かんたん決済

神戸YWCAのホームページで、
クレジットカード決済ができる
ようになりました。

寄付・賛助費・会費・会友費
にご利用いただけます。

右のQRコードを
読み取り、アクセ
スしてください。



*新組織提案づくりミーティ
ングのため、臨時運営委員会
を3回実施。

(書記・福田 百)

■新入会員

河上 婦志子 竹内 洋子
(敬称略)

■賛助員

上 紀子 釜田 睦子
小室 こゆみ 平山 嘉廣
(敬称略)

■訃報

柴田正生さん 8月26日ご
逝去。賛助員として長く神戸
YWCAを支えてくださいま
した。

■編集後記

コロナ禍の中で、先の見え
ない神戸YWCAの活動。し
かし、「たゆたれども沈まず」
でありたい。(H・N)

■学院だより

日本語コースでは「定住外
国人向け日本語力・就業カス
キルアップコース」の入校式
が9月18日に行われた。15
人の訓練生は12月14日まで
の約3カ月間、コースを修了
することを目指し訓練に励む
こととなる。(千葉 真理子)

■保育園だより

コロナの日々でも、保育園
の日常は変わらない。玩具を
舐め、くっつきあって遊んで
いる。それを止めることは、
育ちの芽を摘むようなもの。
保育士たちは、年度後半の自
己目標に「安心・安全な場所
づくり」「自分の健康維持」を
挙げている。

(園長・梅川玲子)

■まごの手だより

7月の研修は、「ワーク
ショップ『災害時対応』」。台風・
大雨災害と大規模地震災害。
それぞれの場合に、起きるこ

とを想定し、利用者やヘルパー
の命を守るための対応や減災
のための事前対策について知
恵を出し合った。

(所長・寺内 真子)

■分室だより

「夜回り準備会」は、コロナ
禍でも休むことなく月2回活
動している。今は中央区から
芦屋まで約6人を訪問してい
るが、これから年末に向けて、
職を失い、路上生活をせざる
を得なくなる人が増える可能
性を危惧している。

(塩見 洋子)

■運営委員会報告

(8月) (オンライン)

【報告】▶日本YWCA 関連①
中央委員会代議員候補②日本
YWCA 会則変更案▶LA II タ
スク1、タスク2スケジュール
確認▶神戸YWCA 新組織
構想の経過報告【議事】▶新
組織ワークショップ▶日本
YWCA 会則変更意見集約

(9月)

【報告】▶日本YWCA 関連①全
国会員総会の件▶LA II タスク2
進捗状況【議事】▶秋のバザー
中止の件▶日本YWCA 関連①全
国会員総会代議員4人、陪席3
人決定②日本YWCA 会則変更案
承認③次期総会期主題聖句、ミッ
ション・ビジョン・バリュー承
認④Y's Bar / Caféへの会員
参加をつなげるメールで呼びか
ける⑤Y's Wonderful Women
賞の件⑥YWCA 通販カタログ▶
新組織ワークショップ▶会員活
動のコロナ対策について

世界YMCA・YWCA 合同祈禱週

11月8日(日)～13日(土)

テーマ 「Rays of hope: creating a resilient
community through practical spirituality

希望の光: 実践的靈性を通じてつくる、
生き延びる力を持った社会 (仮訳)

神戸YMCA/YWCA 合同礼拝

11月10日(火) 9:00～10:00

奨励 山本 知恵さん (京都YWCA 総幹事)

会場: 神戸YMCA チャペル

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、
担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給198,100円～
パート 時給1,100～1,200円
登録型 時給1,000～1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156

シャマイム
担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)
よい てん ごく (24時間受付)
0120-41-1059
宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます
西宮市段上町2丁目13-2
URL: http://sanosousai.com